

## 1996 (平成8) 年

1. 13～15 第4回スキー交流会。於：菅平高尻参加者71名。
1. 20 教研集会。於：理工学部5号館第2会議室。  
日大の組織・機構問題をめぐって  
講演 大日方聡夫(習志野)、田極信雄(鶴ヶ丘高)、  
三宅忠和(経済)、田川浩行(理工)  
(ひき続き)「96新年のつどい」。於：理工学部食堂。
1. 22 平7年度末一時金要求書提出。  
(基本給+家族手当+住宅手当)×1.1ヵ月+9万円
2. 8 「声明 1995年度末一時金交渉について」を出す。  
回答額の低さ、役職手当削減の補填支給、住宅手当算入要求等について  
(576号。96.2.9)
2. 13 平7年度末賞与協定。団交4回後。(基本給+家族手当)×1.03ヵ月+5,000円確認書を交換。  
「大学は、役職手当を算定基礎から除外したことについて、当分の間、役職者に対して査定の中で  
配慮するものとする」  
「組合は、この措置に同意しない」  
「算定基礎に住宅手当を算入することについては、前向きに検討する」
2. 16 一時金支給算定基礎からの「役職手当」の除外に伴う補填支給問題について、  
「一時金・役職者への『特別支給』に対する抗議声明」を出す。
3. 25 「高校部会報」67号記事。  
「1995年度 教育条件基本調査」生徒数、持時間数、専任率など。  
「明誠高校の将来 教育・施設・進学卒の向上をめざして」  
1995年3月の高校めぐりについての詳細な報告。
- ※4. 1 農獣医学部が生物資源学部と改称される。  
東葉高速鉄道「日大船橋駅」開業に伴い、習志野校舎を船橋校舎と改称。
4. 22 平8春闘要求書提出。基本給(定昇後)の一律18,000円引き上げ  
諸手当 家族手当 配偶者 30,000円、その他 20,000円  
住宅手当 一律 50,000円  
平8夏季一時金要求書提出。(基本給+家族手当+住宅手当)×2.35ヵ月+11万円
4. 23 瀬在良男総長に「総長在職三年間の施策に対する公開質問状」を出す。
5. 14 瀬在良男総長から「公開質問状」への回答が送られる。  
平8夏季一時金妥結。団交4回後。  
(基本給+家族手当)×2.35ヵ月+1万円+3,500円
5. 18 「組合報」157号記事。  
「公開質問状」「回答」「前回総長選挙の際組合がおこなった公開質問状に対する、日本大学総長候補者 瀬在良男氏の回答」。
5. 27 医学部支部は組織拡大に取り組み、100人目の組合員を迎える。
6. 3 日本大学総長選挙総長候補者3氏に対して「総長候補者への公開質問状」を送る。
6. 10 日本大学総長選挙総長候補者3氏から「公開質問状」に対する回答が送られる。
6. 13 「組合報」158号記事。「公開質問状と回答」。
6. 18 平8春闘ベ・ア等協定。ベ・ア 基本給(定昇抜)×0.55% 手当 家族手当 配偶者 23,000円、その他 11,500円  
〔改定なし〕 住宅手当 世帯主 22,800円、その他 15,300円
- ※6. 20 第10回総長選挙。第1回投票  
瀬在幸安 1,151、和井内徹 825、柳沢弘士 481
- ※6. 28 第2回投票、瀬在幸安 1,261、和井内徹 1,229
7. 13 第33回定期総会。於：経済学部本館会議室。  
1995年度活動報告、決算報告。  
1996年度活動方針・1996年度予算決定、執行委員長 桜井徹(商)
8. 24～28 組合結成30周年ツアー。「日本大学教職員組合中国研修旅行」。  
参加者36名。北京大学、故宮、万里の長城、明の十三陵等を見学。
10. 12 高校部会
10. 14 年末一時金アンケート集計・給対部会  
参加83名。給対部案 4.0ヵ月+100,000円
11. 5 年末一時金団交第4回

- 大学側第6次回答 3.2ヵ月+10,000円+13,000円 妥結
- 11.9 組合結成三十周年記念祝賀会・シンポジウム 於：日本大学会館来賓40名、  
支部参加128名、合計168名参加、シンポジウムは合計88名の参加、  
桜井徹執行委員長挨拶  
三宅忠和「基調報告 『日大白書第3号』の作成にあたって」  
吉田克明「建学の精神をめぐって」  
竹内幸雄「大学財政—『赤字』論の再検討」  
大日方聡夫「管理運営と大学本部」 牧野富夫、中野優子、藤本訓利各氏のコメント
- 11.11 青婦部会：スキー交流会の計画検討、12.2 打ち合わせ。
- ※12.月 「日本大学未来創造プロジェクト」チーム（委員長、前澤一夫）発足、グローバルビジネス研究科、通信制大  
学院、NUBICなど8重要項目を答申
- 12.7 船橋支部芋煮会
- 12.11 教宣部会
- 12.14 高校部会
- 12.20 「組合報」第162号記事  
「組合結成三十周年記念シンポジウム・祝賀会開ける」  
「組合書記局電子メール開設」「講義・授業の一コマから⑩」商学部 真屋尚生「私の講義作法」  
三十周年記念事業統括責任者 豊山支部 篠島力「三十周年記念事業を終えて」